

## 信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座について

### 1 信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座の概要

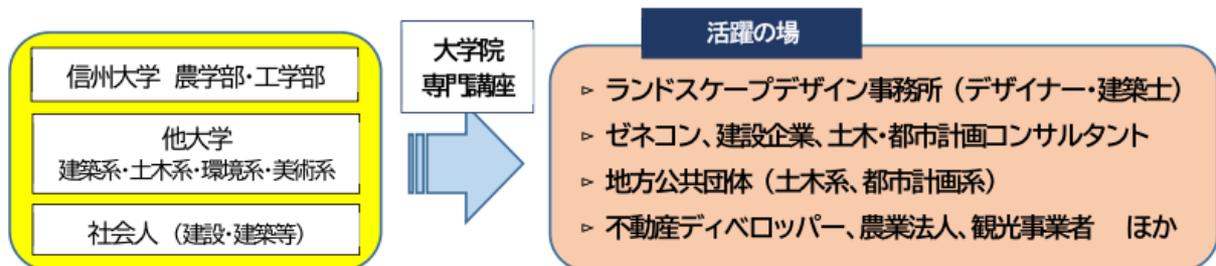
- (1) 開設時期：令和5年4月（～5年間（予定））  
開設準備：令和4年4月準備開始
- (2) 専攻・課程・定員：総合理工学研究科農学専攻（修士課程（2年））／入学定員3名
- (3) 教員体制：専任教員2名
- (4) 特任教授：長岡造形大学（造形学部建築・環境デザイン学科長）の小川総一郎教授を招聘
- (5) 助教：公募予定

ランドスケープ・プランニングとは・・・

地域が持つ自然及び環境の潜在力や土地機能などの諸要素を分析しつつ、都市空間、造園空間、建築群、街並みなどについて、総合的で魅力的な空間のデザインにより、計画・設計・提案を行うもの。

### 2 主な教育カリキュラム

- (1) 専門科目：ランドスケープ・プランニング特論、ランドスケープ・プランニング特別演習、信州ランドスケープ特論、ランドスケープ・プランニング特別実験演習、特別研究（テーマ・目的の設定、分析、コンセプトの立案、計画・設計、発表）
- (2) 農学専攻共通：研究者倫理特別講義、食と緑の科学特論、生物・食資源生産学特論、環境共生学特論、環境共生学特別演習
- (3) 活躍の場



### 3 支援の概要

#### (1) コンソーシアムの設立 (R3.12.9)

- ・会長：綿半ホールディングス株式会社代表取締役社長 野原勇氏
- ・会員：建設業、建設コンサル、造園業、製造業、金融機関、報道機関、長野県、南信州広域連合、飯田市、南信州・飯田産業センターほか (R3.12 現在：39 団体・企業)
- ・趣旨：講座修了者が、地域内や県内の産業界・行政など様々な分野に就職することで、ネットワーク的により良い景観形成（ランドスケープデザイン）が実現される社会を目指す。地域内のフィールドでの演習を通じて地域とのつながりを構築することで、魅力的で居心地の良い空間を形成し、地域への誇りと愛着が高まるデザイナーを育成する。

(2) コンソーシアムの設立までの経過

期 日	内 容
R3. 12. 9	コンソーシアム設立
R3. 12. ~	コンソーシアムへの加入依頼 企業版ふるさと納税による寄附の依頼
R3. 4. 8	第5回設立準備会（コンソーシアムの立ち上げ、会員募集について）
(参考)	
R2. 8. 5	第4回設立準備会（コンソーシアムの立ち上げについて）
R1. 12. 3	第3回設立準備会（講座の具体的な内容についての協議）
R1. 8. 26	第2回設立準備会（講座の設置について、信州大学との協議報告）
R1. 5. 4	リニア時代を見据えたランドスケープデザインシンポジウム
H31. 4. 3	第1回設立準備会（準備会の立ち上げ、シンポジウムについて）

4 費用 財源

(1) 必要経費 117,840 千円 （準備期間1年+講座開設5年）

【年度別内訳】

	R4 (準備)	R5 (1年目)	R6 (2年目)	R7 (3年目)	R8 (4年目)	R9 (5年目)	合計
人件費（教授、助教各1人）、講座研究費、事務費等）	13,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	108,000
学生支援		1,380	2,460	2,460	2,460	1,080	9,840
合計	13,000	20,380	21,460	21,460	21,460	20,080	117,840

(2) 運営経費の確保について

- ・企業版ふるさと納税を活用し、全額寄付により賄う予定（寄附の実行時期：令和4年4月～）
- ・寄付の流れ  
飯田下伊那14市町村へ寄附 → 南信州広域連合へ集約（基金条例）→ 共同研究講座コンソーシアムへ → 請求書に基づき信州大学へ納付。
- ・14市町村は、企業版ふるさと納税の地域再生計画を申請及び地方版総合戦略を変更手続き中。